



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）146名（うち指導医数 42名）
- 研修医数 1年目 15名 2年目 16名
- 研修医の主な出身大学 慶應大学・杏林大学・帝京大学・女子医大学・日本大学・昭和大学・鳥取大学・東北大学・宮崎大学・琉球大学・旭川医科大学・新潟大学・群馬大学・埼玉医科大学・日本医科大学・山形大学・札幌医科大学・浜松医科大学・東京医科大学・北里大学・順天堂大学・聖マリアンナ医科大学・信州大学
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 脳神経内科 内視鏡内科 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺外科 小児外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 内視鏡外科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 緩和ケア内科 病理診断科 救急科 総合診療科 歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 1113.1名 ● 1日平均入院患者数 386.8名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修関連施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度指定施設



研修プログラムの特色

基本コース

基本コースでは内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科、地域、麻酔科が必修です。救急外来では、年間5,000件を超える救急車の受け入れがあり、そのファーストタッチは研修医が担当します。将来どの診療科に進んでも怖くない救急の知識と度胸が身につきます。また、年間通して抄読会や症例検討会が行われ、国立病院学会、埼玉県医学会その他の学会発表を通して、学会発表の指導も受けられます。

小児科・産婦人科コース

小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっています。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。

基本コース（募集定員12人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科								救急	麻酔科	小児科	
2年目▶	外科	産婦人科	地域医療	精神科	選択科目							

必修科目として内科系32週、救急科6週、産婦人科、外科、小児科、地域医療、精神科各4週、麻酔科6週があります。1年目で、主に内科系診療科で研修します。救急研修では、救急科に所属する6週間の研修以外に月に4～5回の全科当直を行い、継続的にトレーニングを受けます。2年目に約4週間の地域医療研修を診療所等で実施し、約32週間を研修医自身が希望する選択科目に充てます。また、各科別プログラムとは別に全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修します。



研修医の処遇

- 給与▶ 約43～46万円/月（諸手当・当直料含、通勤手当別）
- 諸手当▶ 通勤手当
- 保険▶ 社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労働保険
- 勤務時間▶ 8時30分～17時15分
- 当直▶ あり（4～5回/月）
- 休暇▶ 祝日、年末年始、有給休暇（1年次：12日 2年次：13日）
- 宿舎▶ あり（希望者多数の場合は入居できないことがあります）
- その他▶ 健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料

主な臨床研修協力病院 協力施設



- ・慶應義塾大学病院
- ・日本大学板橋病院
- ・大泉病院
- ・勝海外科
- ・天野医院
- ・志木北口クリニック
- ・志木駅前クリニック
- ・大塚産婦人科
- ・秩父市立病院 他

当院の魅力

2018年から新館がオープンし 550 床へ！

○当院は地域に根ざした中核病院として、国や埼玉県より地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、循環器病基幹医療施設、肝疾患診療地区拠点病院として指定を受けています。また平成 27 年 10 月より地域周産期母子医療センターに指定され、小児・周産期医療も推進しています。そして更なる機能向上のため、平成 30 年 11 月に新館 200 床を開棟しました。現在職員一丸となって質の高い医療を行っております。

○研修医は年 1 回実施される国立病院医学会や埼玉県医学会の参加のほか、月 1 回実施される地元医師会との合同カンファレンスや抄読会、症例検討会、各種勉強会に出席することができるなど、研修環境も充実しています。

また、研修期間中半年に 1 回、研修担当責任者が面接を実施して研修状況を確認し、きめ細かい指導を行っています。

○立地は都心からのアクセスも良好ですので、将来に備えて都内での講習会の参加が容易です。一度見学していただき、当院の雰囲気を感じて、自分の求める研修があるかを確認して下さい。やる気のある方大歓迎です。



研修責任者から message

埼玉病院は、地域で中核となる公的病院として、地域医療を実践しています。救急の現場では、指導医とともに研修医が多くを学んでいます。また、当院には、埼玉県内でも有数の特徴ある診療科があり、選択研修の幅が広がっています。



小児・周産期センター部長
プログラム責任者

上牧 勇

学術面は院内学会、国立病院学会、埼玉県医学会での発表を通じて学会発表についても指導を受けます。指導医とともに全国で開催される学会に参加し、発表を経験することは貴重な経験となるでしょう。共通講義、抄読会、症例検討会その他の勉強も豊富です。

このような環境で、積極的な姿勢を持ち、2年間の研修生活を仲間とともに過ごせば3年目以降の飛躍に役立つと信じています。

先輩研修医から message

埼玉病院は働きやすい、学びやすい環境が整っています。研修医は1学年に16人と程よい人数です。少し多いかな？という印象を受けるかもしれませんが、別の科をローテーションするので、手技の取り合いになる事もなく、上級医からご指導いただく時間も多いです。1人1人の患者に対して、入院から退院までをマネジメントする事もあり、コメディカルとのチーム医療を実践する事ができます。定期的な勉強会も多く、年に2回は学会で発表する機会があります。



研修医 2 年目
西川 美由希

そして当院の魅力は雰囲気の良さ！病院全体が温かい雰囲気。他科の先生にも気軽に相談しやすい環境の為、沢山の先生方にご指導いただきながら日々成長を実感しています。都心に近く待遇も十分です。言葉では伝えきれない良さが沢山あるのでぜひ一度見学に来てください。



女性医師支援コーナー

- 産前休暇制度(6 週間) ○産後休暇制度(8 週間)
- 育児休業制度 ○院内保育園(0 歳から)

連絡先 独立行政法人国立病院 埼玉病院

医療支援室 研修医事務担当

〒351-0102 和光市諏訪 2-1

TEL ▶ 048-462-1101 (代表) FAX ▶ 048-464-1138

E-mail ▶ ushino.miki.rx@mail.hosp.go.jp

URL ▶ http://saitama-hospital.jp/

アクセス ▶ 東武東上線 成増駅より東武バス・西武バスともに 7 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けています。病院見学応募申請書を左記住所まで郵送して下さい。詳しくはHPをご覧ください。
- 埼玉病院説明会は3月と8月に開催予定です。
- 埼玉病院 facebook をご覧ください。
<https://www.facebook.com/埼玉病院-644568159012220/timeline>